

## ケニア共和国とのホストタウン事業（第一弾）の実施について

### 1 経緯

平成29年11月7日、本区はケニア共和国大使館とホストタウン事業に係る覚書に調印した。覚書においては、「目黒区とケニア共和国との間で、人的・文化的な交流を図るものである。この事業により、目黒区とケニア共和国との相互理解を深め、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後も交流が継続することを目指した取組を進める。」とした。

### 2 目的

覚書を交わしたことにより、今後は、大使館職員等による区内小・中学生へのケニア共和国の紹介、オリンピック・パラリンピアンとのスポーツ交流、目黒シティランをはじめとした区内イベントへの参加やケニア文化を紹介するイベントなどを開催することになる。

覚書締結後、ケニア大使が参加する直近の催しとして、目黒シティランが今年26日に開催となる。準備を進める中で、ケニアの子どもたちの日常生活においてシューズが不足していることが伝えられた。そこで、ホストタウン事業の第一弾として、ホストタウンのおもてなしの心から「Rafiki（ラフィキ。スワヒリ語で「友達」を意味する。）」をテーマとし、友達同士が応援し助け合う事業を実施する。

### 3 事業内容

- (1) 名称 「ラフィキ トモダチ プロジェクト」
- (2) 内容 ケニアの子どもたちに、「いつかいっしょに走りましょう。」というメッセージを込めて、新品に近い（もしくは使用に十分に耐える）シューズを集めて送る。
- (3) 実施体制 公益財団法人目黒区国際交流協会（以下「国際交流協会」という。）と共催
- (4) 収集期間 平成29年11月26日～平成30年1月末
- (5) 集積場所 国際交流協会
- (6) 実施及び報告 区民の協力を得て集めたシューズをケニアの子どもたちに送り、日常生活で使用してもらう。その様子を平成30年2月11日開催予定のMIFA国際交流フェスティバルにおいて、「ケニアでのシューズの活用の様子や子どもたちの声」として発表及び展示報告する。
- (7) その他 今回の結果を踏まえ、継続実施についてケニア大使館と協議する。

### 4 協力先

ケニア共和国大使館、目黒シティラン実行委員会、一般社団法人めぐろ観光まちづくり協会、NPO法人目黒ユネスコ協会 他

### 5 周知

目黒シティラン会場での周知、めぐろスポーツニュース（12月15日号）、国際交流協会の会報、Kaleidoscope Meguro、区ホームページ 等